

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

NPO中小企業再生支援第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：社会福祉法人くっくあゆみの会 くっくおさんぽ保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：永田 ももこ	定員（利用人数）： 60名
所在地：横浜市港北区日吉6-1-7	
TEL：045-566-6777	ホームページ： <a href="http://kukkuosanpo.com">http://kukkuosanpo.com</a>
<b>【施設・事業所の概要】</b>	
開設年月日 2001年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人くっくあゆみの会	
職員数	常勤職員： 17名 非常勤職員 10名
専門職員	施設長 1名 栄養士 1名
	保育士 21名 調理員 2名
	看護師 1名 事務員等 1名
施設・設備の概要	保育室 6 調理室、調乳室 2
	一時保育室 1 子育て支援スペース 1

③ 理念・基本方針

**【保育理念】**

法人理念・保育理念を「一人ひとりが尊重され、その人らしく輝いて生きることができる社会を創造することに貢献したいと考える」「常に現場の状況を第一とし、スタッフ一人ひとりが子どもの人権を守り、自立への援助を図ることを共有し、理解し合える運営をしていくことを理念とする」

**【保育方針】**

保育方針は①遊びの中で身につけるたくさんのことを大切に、②発達の節目を丁寧に見守る、③子どもの健やかな育成を願い、保護者の就労を支援していく、④地域の子育て家庭を支援する、とし、保育目標を、①さまざまな生活体験をします、②自分も友達も大切にします、③豊かな感性を引き出し、表現できる力を育みます、④自分の要求や意見を主張できます、⑤生きていく力をしっかりつけるため、たくさんあそびます。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

**【立地および施設の概要】**

くっくおさんぽ保育園日吉は東横線日吉駅より徒歩20分 バスは日吉駅より5分の古い住宅地の道路沿いにあります。丸い窓 遊園地の建物を連想させる鉄筋コンクリート2階建てです。門から玄関までグリーン的人工芝を敷き詰め、屋上にも人工芝を敷き 常設のプールも設置、園庭は広く、ジャックという米国の遊具セットがあり、どろんこ遊びの砂場もあり 2階の保育室の窓側には広いウッドテラスが建物の3方を取り囲むように造作され、各部屋からテラスへ自由に入出りできるなど、自由

に動き回れる環境です。園見学で「素晴らしい、広い 子どもを入れたい」と評判の環境です。定員は60名、現在待機児童対策で1割増の70名在園しています。

【園の特徴】

くっくおさんぽ保育園日吉は運営法人である社会福祉法人くっくあゆみの会く本部横浜市港北区日吉6-1-7>と同じ住所にあります。

同法人は他に港北区内に2園を運営しています。1977年に開設したくっくおさんぽ保育園大倉山、2015年くっくおさんぽ保育園ふとおを開設しています。

運営の基本は保護者が安心して預けられる保育園、子どもが落ち着いて過ごせる保育内容、働く者たちがやりがいを持ち続けられる仕事内容、そして地域から頼られる保育園、一緒に生きていける保育園を計画し実行しています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年10月10日（契約日）～ 令和3年3月12日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	回（年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

1. 核家族の悩みに沿う縦割り保育で異年齢児との交流

毎週1回午前中の異年齢保育は3、4、5歳児を対象に泥んこ遊び、お絵描き、おままごとなど4つのコーナーを設け、自分の好きな遊びのコーナーに入って年長、年少が一緒になって楽しむプログラムです。一斉保育ではなく自由な保育で、こどもの自発性、自立心、社会性を養う格好の保育方法です。

自分の好きなものを主体的に遊び、自分で考えて行動し、年長児は年少児へのお世話や思いやり、年少の子は憧れの年上の子のまねなどをして、遊びの幅を広げてゆく中で、集団生活の楽しさを会得するメリットがあります。核家族が多い家庭では異年齢の交わりの必要性が強くあり、それに応える効果的な保育環境を提供していると好評です。

2. 職員が参加する2つのリスクマネジメント

・本園ではリスクマネジメントとして、職員を活用したユニークな方策で効果をあげています。一つは「リスクマップでリスクを認識する方法」です。これはリスクの大きさを縦軸に、リスク発生の可能性を横軸にして、例えばくアレルギー食事を食べた場合はリスクは大きい、発生の可能性は低いく>などMAPでその危険性を見る方法です。高所遊具からの落下、熱中症、プールでの溺水など、事故のパターンをワークショップ形式で紙に書いて地図の上に貼り付けて目で見る方法です。

・もう一つは4種類の記録簿のうち「保育中の”ちょっと気になる”」で、職員が目で見つけた点を報告する「ちょっと気になる」レポートです。保育内容、清潔、安全、言葉使い、身だしなみ、親への配慮など、職員目線で感じたことを書くメモですが、「どうしたらよいか」と改善策まで書くようになっており、職員全員の無意識的な園運営の参加といえます。

3. 月に24枚とし込みの「えんだより」で園の保育が全クラスわかります

本園の「えんだより」はユニークで、1クラス2ページずつ、全クラスが1冊に掲載され、さらに「ほけんだより」「きゅうしょくだより」もあり、トピックス、写真保護者のブログもあり、活字も大きく、読んで楽しい内容となっています。毎月24P、これ1冊で園全体の保育の様子がわかる便利な冊子です。

◇改善を求められる点

1. 個人情報の第三者提供の同意書が必要になる時のために

子どもの個人情報の第三者提供 進級先の小学校、病院、転園の場合などで保護者の同意が必要になるケースがあることを想定して、「個人情報使用同意書」の作成が望ましいと考えます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

社会福祉法人くっくあゆみの会として開設して43年、3園を運営している中のひとつであるくっくおさんぽ保育園は東急東横線日吉駅にあり、2001年に開所し20年を迎えます。

今回の第三者評価を受審するにあたり準備を進めていく中で、行っている保育の取り組みや園の運営について、いくつかの小グループをつくり過去の受審資料を参考にしながら話し合いを行いました。この過程はいままで受け継いできた保育を職員全員が改めて振り返る良いきっかけとなりました。

今回の評価結果は質の高い福祉サービスを提供すると共に地域に開かれた施設運営を行うための課題を明確にし、具体的な目標設定を行う上での客観的な指標となります。評価の高い点については今後の園の運営や保育の励みにするとともに今後さらに推進していきたいと思っています。また改善を求められた点については十分検討を行ったうえで、職員一体となり福祉サービスの質の向上に努め、より良い施設を目指して努力していきたいと思えます。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり